

令和7年度 第2回釧路市社会教育委員会議【議事録】

日時 令和7年12月17日(水)10:00～11:40

場所 釧路市生涯学習センター 801号室

1. 出席委員 13名(15名中)

田丸典彦委員長、石田憲一副委員長、大久保 貢委員、加賀谷淑子委員
加藤 亮委員、田中郁子委員、田中達也委員、津村伸一委員、土居慎也委員
中居陽子委員、濱口憲太委員、藤原節男委員、横田三香委員
(欠席:佐藤明美委員、中西紗織委員)

2. 市出席者 14名

岡部教育長、工藤生涯学習部長、内海生涯学習課長、曾根美術館長、竹内スポーツ課長
秋葉博物館長、平野動物園ふれあい主幹、北村阿寒教育事務所長
長谷地音別教育事務所長、大島学校指導課長、八幡生涯学習課担当係長
牧野主任(社会教育主事)、岩田主事(社会教育主事)、佐藤主事

3. 議事

- (1) 釧路市社会教育推進計画第2次(令和6年度)実施計画の評価について
- (2) 令和8年度開催の会議及び研修等について
- (3) その他

4. 質問(意見)及び回答

議事(1) 釧路市社会教育推進計画第2次(令和6年度)実施計画の評価について

・生涯学習課から、評価結果の概要について説明した。

【委員】事務事業の見直しで事業の縮小が予想される中、今後は、評価できる部分とできない部分が出てくると思われる。さらに、これまでのABCの評価をやめ、コメント重視に変えたことで見えてきた部分もあるが、文字の羅列の評価は市民に伝わらないと思う。市民にとって分かりやすい評価を今一度考える必要があるのではないか。

【委員】評価をしている印象として、ABC評価は見やすいものの、どのように改善していくかというものが見えにくかったが、行政の評価内容が見直され、課題や改善点がより詳しく表現されてコメントしやすくなった。その辺りは大事にしながら、さらに分かりやすい評価になればと思っている。

【事務局】これまでABC評価を行っていたものを、現行の計画に移ったのを機にコメント重視の評価に改めたこともあり、現行の計画については今のやり方で評価したい。次回の計画は令和9年度に策定することになるが、評価の方法についても合わせて検討したい。

議事(2) 令和7年度開催の会議及び研修等について

・生涯学習課から、社会教育委員に関わる令和8年度開催の会議や研修会について説明した。

【質問】なし

議事(3) その他

- ・生涯学習課から、令和7年度に参加した会議や研修等について、参加者や内容について説明した。
また、令和7年度に関係機関から依頼された委員等について報告した。

【質問】なし

5. 協議

テーマを「自然との共生と文化芸術の振興」に設定し、「自然との共生」「文化芸術活動の推進」「文化財の保護と活用」「アイヌ文化の保存・継承」の4項目に分けて、現状の課題等を元に協議を行った。